

西田小学校・同窓会 会報

発行者 西田小学校同窓会 編集責任者・田村晋一郎(2期生)



2016年7月サマーキャンプ大花火大会(西田小校庭にて)

すばらしい小学生たちとともに

同窓会会長 中澤一郎(13期生)

今の小学生は私たちが60数年前に経験していた学校生活とは隔世の感があります。戦後物資が不足していた時代、貧しいなかでも給食がありました。お腹がすいているから残すことなく食べました。でも脱脂粉乳のミルクだけはどうしても飲めない。私は鼻をつまんで飲み込みました誰しもが同じようでした。今の給食メニューは栄養士さんが作るおしゃれでおいしそうなものばかりです。一度食べてみたいと思います。私たちの時代が、今の時代と比較して良かった事は野山を駆け巡り、田んぼや小川でさかな・ザリガニ・どじょうなどを採ったり、木の上に小屋を作ったり、校庭で泥だらけになり母に怒られたり、塾には行かず、習い事もせず(一部の人は習い事をしていました)、宿題だけはきちんとやり、テレビやゲームは無いので本(マンガ本も)を読むそんな毎日でした。やること言うことまったく子供でしたから、今の小学生のしっかりしていること、負けてしまいます。時代は変わっても子供は子供、遊びにかけては天下一品で何もいうことはありません。ゲームもうまい、IT も平気で触れる、肝心の勉強はお決まりの授業のほかに社会教育・環境教育・文化芸能教育など多岐にわたり、実践・経験の教育が取り入れられ児童たちの幅広い人材育成をめざしています。うらやましい教育環境です。一方クラブ活動も活発で一生懸命練習に励んでいる姿は立派です。保護者や卒業生・近隣の方々が仕事の合間をみてお世話しています。そして何よりも素晴らしいことは元気で、明るく、挨拶が上手なので学校を訪問するのが楽しみです。

戦後71年間日本は平和でした。この平和が素晴らしい教育を支えているとつくづく感じています。これからも争いのない世の中が続くよう、穏やかな心をもって子供たちとともに歩んでいきましょう。同窓会は西田小の子供たちとともに歩み、将来大きくなった時、西田小の思い出のひとつになってくれたら嬉しいではありませんか。

来年、西田小創立75周年、同窓会設立25年を迎えます。

同窓会総会「西田ホームカミングデー」を開催しますので“全同窓生のお力を戴きたい”と切に願っております。

西田小卒業したら、老い(87才)も若き(13才)も、仲良し同窓生!!!

持続可能な未来への挑戦

西田小学校校長 小堂 十 先生

本年4月に西田小学校に着任し、早くも半年が過ぎました。今、西田小はユネスコスクールNISHITAと銘打ち、ESD(持続可能な社会を築くための教育)の推進に取り組んでいます。本校のESDは、ホールスクールアプローチの形態をとり、教育活動全体を通じて進めていきます。

学年ごとに、年間の学習計画をESDの視点から再構築し、授業研究を行っています。10月までには、既に4つの学年で研究授業が行われ、毎回多彩な学びとともに、研究協議会にも多くのゲストをお迎えして活発な議論が行われています。

現在、東京都では2020東京オリンピック・パラリンピックに向けて、オリンピック・パラリンピックを通じた学びの場を求められていますが、ESDの研究はこれと軌を一にするものです。

ある日、私は何人かの子供たちに「今、どの学習が楽しみですか。」と聞いてみたところ、生活科や総合という返事が返ってきました。また、教員からは、これまでに一番学年で研究のための話し合いができたとの声も聞こえてきます。この子供たちと教員の反応からは、私たち教員が本気になって頑張ることにより、学習を充実させ子供たちに学びの楽しさを味わわせていることを実感します。

本年度、文部科学省ではESD推進の重点事業としてサステナブルスクールの募集がありました。本校は全校で考えたESDカレンダーをもとに応募したところ、1000校近くあるユネスコスクールの中から24校・園の重点校として採択されました。

この研究の成果については、今後も皆さんに発表していく考えです。

今後の持続可能な社会を支えていくのは、西田小学校の一人一人の子供たちになることを目指し、家庭・地域の皆さんと共に努力してまいりたいと思います。



学校行事から

★ 卒業式 平成28年3月25日(金)

今年は102名の児童が「西田の丘」を巣立ちました。母校の卒業生総数は 11,383名です。

ことしも、卒業生たちは、一人ひとり将来の希望や抱負を力強く述べて、出発です。心から卒業おめでとう。

★ 入学式 平成28年4月6日(水)

どの新入生も担任の先生のあとについてかわいく緊張して入場してきました。会場の子どもの温かい拍手に迎えられ、これから始まる儀式は何が始まるのかな？

★ 運動会 平成28年5月28日(土)

快晴に恵まれ開催されました。一生懸命練習してきた競技や演技の発表です。赤組も白組も全力でぶつかりました。実力以上に力を出せた人、緊張して力が出せなかった人、それぞれ頑張りました。

4月入学の一年生も立派な演技を見せてくれました。来年も楽しみです。

★ サマーキャンプ 平成28年7月2日(土)3日(日)

昨年雨に泣かされたサマーキャンプ。今年は絶好の天気です。

早朝から「おやじの会」のお父さん、お母さんが活躍しています。テント張り、露天風呂、料理器具を準備。

子供たちの社会生活体験のため、消防、清掃事務所、震災救援避難所のスタッフも集まってきました。

各種職業体験は働いてお金を稼ぎます。そのお金で夕飯が食べられるのです。自分たちで作った材料の入ったカレーライスを食べ、夕食後のひと時、西田小卒業の田辺望さん(昨年もきてくれました)のピアノ演奏を

聴きました。夜のメインイベント「西田小大花火大会」が火の神様の登場でスタート。打ち上げ花火に始まり、クライマックスはナイアガラ仕掛け花火が校庭の東から西まで目一杯に展開し、大歓声があがりました。

日曜日は朝食後、同窓会の面々が企画した昔遊びを一緒に楽しみ輪投げでお土産もGET、全員で750個のドミノに挑戦し大成功でした。来年は倍増の1500個に挑戦しましょう。楽しい2日間皆様お疲れ様でした。



竹馬づくり



バルーン遊び



缶ポックリ

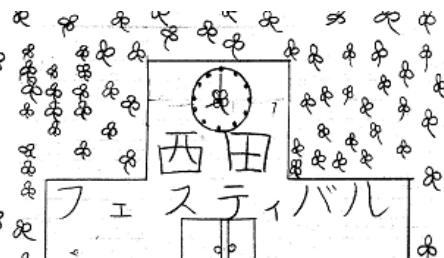


ドミノ750個

★ 西田フェスティバル 平成28年月7日9日(土)

毎年子供たちが楽しみにしている手作りのお祭り、西田フェスティバルが開かれました。いろいろな工夫があります。西田神社に何を願ったのかな。今年は探偵もの、クイズが活躍していた感じでした。

子ども達の中に入れていただき楽しいひと時でした。



西田神社



絵馬奉納



西田のクイズ王



探偵事務所

★ 富士学園

平成28年月10日5日(水)～7日(金)

富士の自然を感じる3日間、いろいろな体験をしたようです。みんなの体験句に楽しかった様子、自然が素晴らしい様子など現われています。おもしろそうな句を紹介します。

きもだめし ビビッて強く 手をにぎる
富士の水 みんなで守る 自然かな
登山靴 富士の思い出 つまってる
景と叫 ふたつの絶が ならぶ山
山の上 金のすすきが 囁くよ
ずずずずず けがに用心 下り坂
青い空 秋にそまった 赤い富士
空を見る あたり一面 星の海
山登り つかれたところに 絶景が

きもだめし 暗やみの中 さけび声
たくさんの 思い出つまる 三日間
富士山は おしゃれな雲を かぶってる
きもだめし こわさでびる 富士の夜
富士山や 高座山は 雲食べる
きもだめし 本当のお化け 出てきそう
お休みと 言ったけれども 眠れない
闇のよう 奇妙な声が きもだめし
八海に 姿あらわす 逆さ富士

★ 土曜授業で

・パラリンピアン 廣道 純さんが講演

平成28年10月13日(土)

大阪出身でシドニーパラリンピックの800m車イスレースで銀メダル、アテネパラリンピックで銅メダルを獲得した、廣道さんが、来校されました。高校生のときに交通事故で下半身が利かなくなり、車イス生活になった時から車イスアスリートとして大活躍されるまでの苦しいとき楽しいときのお話を聴きました。廣道さんは絶対にくじけたりしないで前を見ていくことの大切さを熱く語られました。メダルもを見せてもらい子供たちもいい刺激を受けていました。大変に有意義な時間有難うございました。



・昆虫写真家 皆越ようせいさんが講演

平成28年10月22日(土)

皆越ようせいさんは、ミズを始め、トビムシ、ダニ、ヤスデ、ダンゴムシなど、主に土作りをする小さな動物(土壌動物)の生態写真を撮り続けている写真家です。子供向けに絵本も多数出され、子供たちにはよく知られた絵本の作者になります。ちょうど3年生が昆虫や環境について学習していたこともあり、ダンゴムシの話を聞けるとわくわくしていました。講演の後半には、母親が自ら子供たちのために体を食べさせ命をつなぐハサミムシの写真も紹介され、子供たちには命の大切さについても学んだ一日でした。



★ 学習発表会

平成28年11月11日(土)12日(日)

今年は2年に一度の舞台発表会でした。今年のテーマ「みんなで輝け! 晴れ舞台」力を合わせて最高の舞台で各学年とも素晴らしかったです。

4月に入学した時は小さかった一年生が、半年でこんなにも成長し「遠足に行くんだ」を立派に演じました。ゴロゴロさまの音がすごいので本当に雷が来たのかと。三年生の「どろぼう学校」は物語が面白くよくできていました。結局、最後は全員刑務所に!! 悪いことはできませんネ。二年生の「むかし、むかしのことじゃった...」は読み聞かせの昔話を短くまとめて劇に。みんながいろいろな役をこなして舞台を作り上げました。

五年生は劇配役の難しさをよく表現しながらみんなで譲り合って協力して大きな舞台を作り上げるという難問を解決しました。GOOD JOB! 四年生の「龍の子太郎」でお母さんの愛と太郎のお母さんに対する優しい心が良く表現されていたので涙がにじみ出ました。ここでも、みんなが主役の舞台で熱演でした。圧巻は今年で最後の演技を六年生が見せてくれました。「魔法をすてたマジョリン」マジョリンの心を変えたダビッドを助けようとする勇気、力の入った演技、息の合った演技、歌、素晴らしい舞台でした。六年生が「みんなで輝け! 晴れ舞台」を締めくくってくれました。

感動!! そして楽しみました Thank you!!

記事 中澤

同期生よ集まろう！！

9期 喜寿祝いクラス会

9期生(S27年卒) 柏木 謙治

「忠七会」、担任の(故)岡田忠七先生のクラスで喜寿を祝う会が平成28年11月11日に丸の内「アマルフィ・モデルナ」で開催されました。

喜寿を迎え言いたい放題の会話です。

「いい時代を過ごしたね」「時の流れに身をまかせ♪」「人生劇場脇役ばかり」

「ここまで生きて 喜ぶべきなのか悲しむべきなのか、それが問題だ!」「喜寿?それとも悲寿?」

「過去はすべて時効だ。気に懸けないで!」「素敵なおばあちゃんになりたいワ」

「“すてき”っていい言葉ネ」「10人の医者よりも1人の愛する人が必要♡」

「生への執着でなく老いを楽しむのヨ」「穏やかな日常を求めて」

「忘れたい現実もあるし、認めたくない未来もある」「老いを見つめつつどこかで否定している」

「老いたからこそ味わえる人生の機微があるワ」「思い出を一杯持つことネ」

「思いでは場所もとらないし、誰かに盗られることもない。いつでもイメージできるヨ」

「岡田先生のイメージは忘れられない」「心の支えになっているワ」

「人間の不幸って、人から忘れられることだ」「いつまで生きるつもり?」「岡田先生と同じ白寿まで」...

全員「同感!」 ワイングラスに夕陽があたり、やさしく輝いた。

「忘れないでネ♡」「忘れるものか♡」.....「じゃアまた」



前列左から：浜田、倉本(矢野)、三木(葛西)、麻生(松谷)、笹本(石田)、真藤(広瀬)、宇治川(山形)、
斉藤(林)、益子(間片)、一針(北島)

後列左から：柏木、斉藤、鈴木(入澤)、土屋、神崎、上田、



みんな元気で楽しそう！！



傘寿をめざそ

う！！

13期 卒業60年記念同期会

13期生(S31年卒) 野口 杉男

平成28年3月13日(日)吉祥寺東急REIホテルにおいて、13期生(昭和31年3月卒)卒業60周年の節目を記念して、1組(藤森先生)、2組(大島先生)、3組(柏先生)合同の同期会を開催しました。

担任をして頂いた大島先生、柏先生にご出席をいただき往時を偲ぶお話しをいただき、中澤同窓会会長からは西田小学校同窓会の現況についての話し、竹内君のフルート、東條君のギター演奏、近況報告等をして大いに盛り上がりました。出席した幼馴染の同級生34名(卒業総数187名、物故者20名)は、先生方を囲み60年前にタイムスリップして旧交を温め、楽しいひと時を過ごしました。

大島先生、柏先生お二人ともお迎えにいきますとのお願いに、大丈夫ですと言われ、定刻前にお一人で間違えることなくお見えになられました。本当にお元気なのでみんなで喜びました。残念ながら藤森先生は連絡が付きませんでした。有志で二次会のお茶会で話に花が咲き、いつまでも去りがたく再会を約してお開きとなりました。



前列左から：内藤、稲垣、斉藤、柏先生、大島先生、五味、滝澤、佐野、渡辺、牧野、
中列左から：中田、野口(並)、竹内、土屋、東條、水原、古沢、黒田、吉田、志摩、守屋、柏木
中川、夏目、小川、朝永(浩)、村田、遠藤
後列左から：中澤、小林、古橋、中村、清沢、浅野、朝永(惇)、野口(杉) [女性は旧姓]

13期生は古希の祝いをするチャンスをつのがしたため、卒業60年という区切りで集まりました。前は平成6年(1984年)ですから22年ぶりの同期会でした。みな50歳そこそこでしたから、現役でバリバリ人間、先生も三人揃ってお元気でした。120人集まって盛会でした。13期は定期的にクラス会が開かれているので学年の情報が伝わって素晴らしい同窓会です。

16期 6年1組 古稀祝いクラス会

16期生(S34年卒) 小池 達哉

16期6年1組の仲間は、平成28年古希を迎えることになりましたので、平成28年6月4日に一年半ぶりのクラス会を開催しました。毎年10月の第3土曜日に開催日を固定していましたが、前年は幹事都合により延期となり6月になったためか、参加者はやや少なく13名でした。担任の大塚(旧姓竹中)朝子先生は、体調が回復されずに今回も欠席されました。会場は例年通り、クラスメイトの亀田さんのお店で、開始時間を午後4時に早め、久しぶりの再会をたっぷりと楽しめるようにしました。その効果か、一次会の懇談から二次会のカラオケへと、皆さん本当に古希なのかと疑問に思うほどのパワー全開の盛り上がりで、

終了は10時半、何と6時間を超える楽しい会となりました。

同窓会からはお祝いを頂戴いたしました。御礼申し上げます。



前列右から: 一力、高橋(旧姓・三輪)、帰山、野口(旧姓・渡辺)、原(旧姓・長谷川)、亀田、小池

後列右から: 小田、国定、市橋、新倉、岡田

【撮影】佐藤(博)

21期 6年4組 余公先生米寿のお祝い

21期生(S39年卒) 世羅 隆明

平成28年4月24日(日)に吉祥寺第一ホテルにて6年4組のクラス会を2年ぶりに開催しました。

今年は余公先生が88歳の米寿を迎えられることもあり、先生の教え子であるS35年卒の川北さんや玉井さんも特別に参加され、先生を囲んでみんな和気あいあいと楽しいひと時を過ごしました。

我々のクラスは余公先生の最初の卒業生であり、昔話しや近況報告で盛り上がり、みんなで西田小学校の校歌を大合唱しました。先生は昨年体調を崩され、一時は危篤状態になられて三途の川まで行ってきた？との体験談を話されましたが、先生のお元気な様子に一同安心しました。また次回全員が元気で再会できることを祈念して、和やかな会を終了しました。



<3列目> 武藤、竹口、世良、川北、宇田(田辺)、鶴名山、中野、鈴木、高木、石丸、宇田川

<2列目> 林、大野、玉井、並木(津田)、中谷(満江)、田中(春日)、岩倉

<1列目> 余公先生、長山(横川)、上野(小林)、野口 23名出席:()内は旧姓

先生いつまでもお元気で

粕谷先生は桃井原っぱで毎朝ラジオ体操、月2回の折り紙教室等で、楽しく元気で老化防止に努めておられるとの事です。本年4月に茅ヶ崎に転居される由でした。「思い出」を寄稿いただきました。

思い出

粕谷 高子先生 90歳

昭和21年3月31日杉並区役所で辞令をいただき、教頭先生に連れられて西田小の門をくぐりました。

当時の西田は戦災で焼かれ桃二小に間借りしていました。中央玄関から向かって右側の校舎でした。まず山極校長先生にご挨拶をしました。先生は私の顔をじっと見て「私の学校にこられた新卒は一年生の担任と決まっております。希望は取りません。そして一年間で全教科の研究授業をしてもらいます。よろしいですね。」私は「はい」と答えただけでした。多分カチカチになっていたと思います。53名の1年2組の担任となりました。無我夢中の一学期だったと思います。お父さん、お母さんのような先生方にご指導いただきました。

戦後の新教育と言われても物資の不十分な時で、教材研究の中で必要な教材は放課後に手作りで準備したこともなつかしい思い出です。二学期は戦争中で学業が不十分だったということで勉強させてくれました。

現学芸大学の前身は青山師範と女子師範で第一師範。豊島と当時出来た女子部で第二師範となっていた時分です。私は研究生として第二師範に通いました。2年目は5年生の担任になりました。社会科の研究授業でたまたまかかれたことが思い出されます。このように育てて下さった先生方、保護者の方々にも大変お世話になりました。感謝でいっぱいです。桃四、三谷、沓掛、桃一と35年間勤めることが出来たのは西田校で育てていただいたおかげです。生涯忘れることは出来ません。西田の丘忘れられません。

余公先生の思い出

21期生(S39年卒) 林 貞敬

平成28年4月24日(日)にクラス会で先生にお会いできました。とても嬉しくて筆を執りました。

余公学級4年4組の一番の思い出は何と言っても、当時の西田小学校で最も古い“東校舎での清掃”でした。当時桃二も杉二もモルタルで新築されていたのか、この校舎を指して、西田の学校、ボロ学校と言われていました。余公先生が一番力を入れたのは授業の後の毎日の清掃でした。みんなで柄が長くない箒で一生懸命掃き、「ここに丸があると思ってそこに埃を集めなさい」と習ってごみを塵取りで取りました。固く絞った雑巾で“雑巾がけ”で床を磨きました。1階から汲んできたブリキのバケツに入った水で汚れる度に何回も濯いだものです。今も役に立っている掃除のやり方を覚えたのがこの教室です。当時西田全校で行われていた“清掃コンクール”で金賞・校内優勝を果たしました。木造なのに床が真っ白だったのを今でもはっきり印象的に覚えています。我ら大したものだと誇りに思ったものです。「金賞が取れてこんなにピカピカになったのはあなた達が磨いたからよ。一番古い一つしか残っていない汚い校舎だって言われたって、大切に思って毎日毎日しっかり働いてみんなで協力して磨けばこんなにきれいに立派になって金賞をもらえるのよ」とある時は厳しくまたある時は涙を流されることもあった、この教室で言われたことを昨日の事のように思い出します。

現在、私は東京バッサ合唱団に入っております。当時西田小学校は情操教育モデル校になっていて、私も特別器楽クラブに入っていました。恩師との出会い、これらの記憶やバッサ音楽が表現しようとするメッセージを通して、これから先の私たちの未来の生 life につないでいく事が出来るようになったと思っています。

余話：林 貞敬さんは我が家と隣組で男3人兄弟の三男です。明治学院高等学校教諭として教鞭をとってこられました。とても記憶力がよく、明るい方です。ビックリするのは小学生時代の校舎が、教室が、学校での出来事は、友達の家はどこにどうなっていたか今でもしっかり覚えておられます。勉強の傍らで友達の家によく出いりしたり、あちらこちらで活躍していたものと思われれます。私はお兄様の11期孝雄様と少年野球チームで一緒にさせてもらいました。この野球チームはやはり隣組の12期山田武道さんが中心となって“サーベント”だったか“スネーク”だったかのチーム名でユニホームまで作っていました。この時代は堀も垣根もなく向こう三

軒両隣、「チョット、お隣からおしょうゆ借りてきて」本当にいい時代でした。地域が遊び場で人間の心に垣根が無かったのです。よき時代を取戻したいものです。 余話：中澤一郎 記

同窓生の広場

思いつくままに

2期生(S20年卒) 澤田 眞養

東隣の三島市は一寸内陸に入るので、静岡県でいつも最高気温を記録します。わが沼津市は幸い駿河湾に面しており少なからず気温が和らぎますが、それにしても暑い日が続きます。

我々西田小2期生は幹事長の田村君を中心に、昨年“卒業70年を祝う集い”を行うことが出来ました。

同窓会からのおたよりで、来年“創立75周年記念会”が企画されている事を伺い、健康に留意して是非とも参加したいと思っています。最近 周年行事に参加する機会が多くなりました。先年私の社会人第一歩であった清水東高サッカー部が創部70周年を迎え、記念シンポジウムに歴代監督が参集しました。また富士高校が今春、沼津東高が今夏創部70周年(沼津高専は別系統なので除く)を迎え歴代監督が集められたのですが、3校とも私のファミリーだったのには驚きとともに感慨深いものがありました。沼津東OBの粋な計らいで招待試合に清水東が呼ばれましたが、「孫 vs ひ孫」対決です。沼津東OBは勿論ですが、一番嬉しかったのは私ではなかったのかと思っています。

さて、白水社刊 笠井亮平著「インド独立の志士 朝子」を読んで思い出探しを一つ。サハリー・アシャー一家が上荻窪に居住していました。父サハイはインド独立の志士チャンドラ・ボース氏の片腕。アシャー(朝子)は聖心女子高等女学校を経て、昭和高等女学校(現・昭和女子大系)へ、妹のベビ(スモナ)と弟のアショークは自宅から歩いてすぐの桃井第二国民学校に入学していた事を知りました。しかも、妹弟は集団疎開で長野県別所村へ行っていたらしい。私たちの「別所」です。早速、桃二小へ連絡して返信を待っているところです。

「泉屋さん」の近くに杉六小。立教女学院という記憶はありますが、最も身近な桃二が居たのかな？遠い遠い思い出探しです。我々は今年申年の年男です。サッカー部の若手OB達に誘われて月一ゴルフを頑張っています。私の昭和21年の転校先 旧制広島一中：鯉城高校の東京在住同級生組も、気候の厳しい夏冬を除き月一で御殿場で「鯉城ゴルフ会」を楽しんでいます。鯉城といえばカープ、連敗がなかったカープが4連敗で5.5ゲーム差まで追いつかれています。秋には悲願達成で祝杯を挙げたいと願う日々です。

懐かしき昔あそび

2期生(S20年卒) 和田寿美子

目下、私が夢中になっているもの・・・それは何と「綾取り」なのです。キッカケは同窓会の中澤さんからの話で12月に西田小で「昔あそび」を教えることに参加してもらいたいとの要請があり、気楽に二つ返事をしたものの、チト不安になり憶えているかなと始めてみたら、アララ？！どれも途中でストップ！！大変だア！！早速友人に電話し、憶えてる？返事はどの人も「・・・と思うけど」とオボツカナイ。結局、例会のあと、昔子供たちの綾取り研究会が始まったワケ。「ね、このあと、どうだった？」「ア思い出した。こうよ。」「え？」「一寸違わない？」

「二番目のじゃなかった？」ワイワイガヤガヤ子供に返っての楽しいひととき。おかげで少し思い出しました。そう云えば日本舞踊の「初子日」(長唄)に、この一節があります。“東風そよぐ門松に追羽根の音 手毬唄”
常磐津 「子宝三番唄」では“ちくま遊びの千代かけて”とあります。この“ちくま”は竹馬のことで親しい友人を「竹馬の友」と云うのも、これから出た詞と云われています。原っぱで風あげ、石けり、かくれんぼ。部屋ではかるた、双六、福笑い、オハジキ、お手玉、折り紙、綾取り、……昔遊びは脳と指を使うので健康に良いとのことと一す。

集団疎開の心旅

3期生(S21年卒) 北岡 靖博

昭和20年の終戦から10年後の昭和30年に西田小学校から集団疎開したなつかしの別所温泉「和泉荘」に行くことになった。昭和30年8月6、7日に参加者30人、川野先生、岸上先生、安里先生も加わられた。お

世話になった和泉荘の家族4人は元気でおられ安心した。私は塩川村の恵光院の住職と家族に元気で会えた事を喜び、お世話になったお礼を述べ、塩川村役場で村の役員一同にお世話になった挨拶をし、記念写真を撮って喜び合った。その後坂下の石井地区の割烹旅館に招待され尽きぬ話で楽しい時間を過ごした。当時塩川村での生活はおながすいて大変であった。午前村の小学校の授業に行き、午後は公会堂での生活でした。週に1回坂下の石井地区の銭湯に行った。帰りは皆で桑畑に寄って桑の実をロー杯にして食べて帰るのである。夏の午後、昼ねの時間に徳井先生から誘われて千曲川に泳ぎに行くこともあった。歩いて10分の所で流れも早い。近所の子供達も来ていっしょに楽しく過ごした。あるとき急に熱が40度になり苦しくて寝られなかった。看護師の長井さんから薬を頂いて飲んだ、四日目に回虫を吐いたのでビックリした。桑の実が原因かも知れず食べるのをやめた。20年8月15日に昭和天皇の重大発表が放送されるので塩川公会堂に集合した。

先生から生徒、全員が集まり昭和天皇の詔勅をきいた。日本は終戦を受け入れて敗戦国になったのである。全員が泣き、先生の1人は大声を出して洋服を階段にたたき付けて泣いていた。集団疎開1年2ヶ月の間、生活指導を受けてきた先生にお礼を申し上げます。浅間の麓の出来事、私はいつまでも忘れません。

東京散歩

12期生(S30年卒) 武田 喜一

我が家を飛び出し、小田急線、総武線と乗り継ぎ飯田橋へ。牛込橋を渡り東京大神宮のパワースポットに丁寧にお参りして、神楽坂へ。毘沙門天の裏手にある「加賀」で早昼、名前の通り加賀料理、雰囲気のある料理屋です。本田横丁を少し歩き、飯田橋に戻り信濃町まで輪行。絵画館から銀杏並木まで散策、黄葉には少し早かった様です。外苑から表参道へ、人込みの街中を原宿方面に行くが若者の街は歩くのに疲れますね。

明治神宮の人工林を抜けて、小田急線の参宮橋まで森林浴を楽しみながらゆっくり歩く。参宮橋から行きたかった名利豪徳寺へ、井伊直弼の菩提寺です。招き猫でも有名。相模大野に着いた時は暗くなっていました。歩くのは楽しいですよ！！(歩数 23,000 歩)

黄昏時代の独り言

13期生(S31年卒) 野口 並人

毎朝、西田の丘近くの善福寺川緑地公園を盲目でヘルニアのM. ダックスの愛犬小太郎と2時間ほど散歩しております。

往時の善福寺川は級友たちと川に入りザリガニを捕まえたものでしたが、一たび大雨になると直ぐ氾濫して一帯は水浸しとなったものです。今の善福寺川はすっかり整備されていますが、川沿いの緑地公園の四季の変化は素晴らしく武蔵野の姿が残っています。桜吹雪で敷き詰められた桜花、新緑で覆われた小径、銀杏の黄色、赤・茶色の落葉、鈴懸の花房、無邪気に泳ぐ小鴨、むく鳥の群舞など季節の変化を肌感じます。

オペラ歌手やバイオリン奏者が朝練もしています。 “鈴懸やヴィオロンの音に飽かず揺れ”

西田が我がふるさとだと感じながらの散歩は、かけがえの無い至福の時間でもあります。散歩中には学舎で机を並べた西田小、松溪中の学友たちとも会います。また愛犬小太郎の犬友の皆様は優雅で上品で素晴らしい方々ですが、そのお子たちがこれまた素晴らしく彼らと話すと快活な笑顔で礼儀正しさにびっくりさせられます。西田をはじめ東田・浜田山・高井戸小・私立学校に通われているか卒業された方が多く、世代を越えて行き会う事が出来ることは杉並・日本で育って幸せだとつくづく感じます。

西田小にも焼夷弾が落ち、防空壕に入り疎開した時代、芋配給に並んだ戦後の貧しい時代から高度成長時代を経て豊かな日本になりました。高齢になるとやはり日本の将来が大変気になります。我らの西田界限・杉並区に住む小学生が家庭教育はもちろんですが、良き武士道精神を持った世界に通じる人間になるように西田小の校長、先生方には一層のご指導をお願いしたいと思う昨今です。

同窓会便り8月号で「西田ホームカミングデー」が企画されていることを知り、大変楽しみにしております。

恩師の大島信夫先生はかくしゃくとされており、毎年のクラス会では60年前の生徒とその両親との会話を詳しく覚えておられます。

若い同窓生から

松溪サウンドを

松溪中学校1年 吹奏楽部 今里 京佳

私は、吹奏楽部に所属しています。私達、松溪中吹奏楽部は一年生8人、二年生14人、三年生9人、計31人と顧問の糟谷先生、飯田先生で活動しています。私の担当は打楽器です。打楽器は管楽器とは違い、吹かずにたたいて音を出す楽器です。打楽器は曲の中では、テンポをキープし、管楽器とは違うことをやっているの、人一倍責任感が大切になってきます。責任感を養うには練習がとても大切です。私は毎日やり方を工夫し、練習を行っています。そして、「先輩よりも上手になる」という目標を目指して練習に励んでいます。

松溪中吹奏楽部は年間20回ほど演奏の機会をいただいております、お客様に喜んでもらえるよう、日々練習に取り組んでいます。松溪中は31人という少ない部員で活動しているため、一人ひとりが自分の音に自身をもって演奏することを心がけています。一年生も二年生も関係ありません。楽器で音を奏でている以上きれいな音色でハーモニーを作りあげなければならないのです。任された役割はしっかり果たし、松溪サウンドを作りあげていきます。時間がありましたらぜひ、松溪中吹奏楽部の演奏会へ足をお運びください。

素晴らしい演奏をお届けします。



バスケは楽しい

松溪中学校1年 バスケットボール部 川田 奈央

私は、女子バスケットボール部に所属しています。なぜバスケ部を選んだかというと、小学生のときからバスケをしていて続けようと思っていたからです。バスケ部といえば、練習がきついというイメージをもっている人も多いかもしれない。確かに練習がきついこともある。でも、つらいことよりも楽しいことの方が絶対に多いはずだ。初心者でも基礎からしっかり教えてもらえるので、すぐに上手になれる。練習していくうちに最初は全く入らなかったシュートが入るようになるなど、できることが増えていくだろう。そして、試合に出て初めてシュートが入ったときはもっとバスケの楽しさが実感できると思う。今までにバスケをやっていた人でも、自分より上手な人が多い中で練習ができ、試合で活躍できたときは今までよりもっとバスケが楽しくなり、その喜びは忘れられないと思う。

体育の授業でも部活での成長を感じられると思う。千メートルや50メートルのタイムも入学したばかりと比べたらすごく速くなっていると思うし、それを実感できたときには、ダッシュなどつらいときでももっとがんばろうと思える。中学校に入学したときには、ぜひバスケ部に仮入部にきてください。私たちが待っています。そして女子の皆さんはチャンスですよ。私たちは人数が少ないので、もしかしたら一年生でもすぐに試合に出られるかも。



吹奏楽部： 第56回東京都中学校吹奏楽コンクール 東日本部門 金賞受賞（4年連続）

バスケットボール部： 男子・杉並区中学校夏季選手権大会 2回戦出場

女子・杉並区中学校夏季選手権大会 ベスト8

会員のメッセージ

会員の皆様からのメッセージです。お元気でいろいろな分野でご活躍の様子や古い同級生の思い出などいただいております。会報発行が年1回なので、時間のずれが出ておりますことをお詫びします。(敬称略)

- 大坪三郎 1期: 荻窪を離れて60年、84歳となると人生の終末期となり子供のころのことがしきりに思い出されます。脳梗塞、狭心症、目の手術による片目の盲人となるなど体はボロボロです。無理ができない情けない体ですが皆様には体に留意し長寿を記念しております。「西田健児の歌」が懐かしい。
- 遠藤達二 1期: 83歳毎日歩くことに専念しております。その際に転ばないように努めております。
- 大塚順子(小松) 1期: 同窓会活動にあたられる皆様には大変お世話になっております。ありがとうございます。母校の益々の発展を祈願いたします。
- 大西秀雄 1期: 現在84歳すっかり年を取り衰えていますが、却って昔のことが良く思い出されます。
- 服部正子(伊田) 1期: 昭和35年に主人の転勤で東京を離れ関西へ大阪市、明石におりました。息子孫は全部東京です。平成25年に主人を亡くし一人で生活を続けてきましたが体もあちらこちら具合が悪くなりホームに入りました。ホームでは料理、生花、コーラス、手芸、など希望すれば教室に入れます。現在はもっぱらクリスマスの準備で忙しいです。同期の神山(猪瀬)さん、新田(岡川)さん、和田(鶴田)さんがお元気の様子懐かしく嬉しく思います。
- 三浦素子(齊藤) 4期: 同窓会会報ありがとうございます。些少ですが会の活動に役立ててください。
- 中村隆子(中川) 4期: 毎年同窓会のご案内を楽しみにしておりました。80歳の祝いをクラス会と一緒にと思っておりました。
- 武田千枝子 4期: 平成29年の学校創立75周年、同窓会設立25周年の祝賀行事の一助にしてください。
- 西野喜久子 5期: 今年の NHK ドラマの舞台が信州上田ですが私たち3年生のとき上級生と一緒に別所温泉の旅館へ学童疎開し生活したこと、皆さんと逢うといつも思い出し尽きない話題です。
- 都筑孝夫 6期: 同窓会活動ご苦労様です。スクエア・ダンスを始めて17年目になります。毎週ダンス例会で楽しく踊っています。日曜日は他のクラブのパーティに参加しています。
- 赤根永子(清沢) 6期: 元気に過ごしています。出きるだけ体は動かすように努力しています。ライブに夢中になって帰宅は夜中。でも翌日はいつものように……という毎日です。
- 花井影彦 7期: まだ現役で、元気です！
- 宇治川多嘉子(山形) 9期: ステーションホテルにて「月映」(恩地幸四郎)版画展の抒情に感動しました。ホームカミングデー賛成！松溪中のホームカミングデーは大変盛大で楽しかった。
- 瀧澤美枝子(浜) 9期: 美しい会報ありがとうございます。
- 森谷東平 13期: 「西田同窓会からのお便り」をありがとうございました。母校が明るく成長していることを知り嬉しく思いました。米国在住、相変わらず元気にしています。8月にはブラジルの奥地に遊びに行きました。
- 辻喜代子(古沢) 13期: 72歳になり子供3人、孫5人元気に過ごしております。
- 渡辺知加子(内堀) 14期: 一日を大切に生きていこう！と。
- 三浦明子 14期: 会報ありがとうございました。伊東市へ転居、西田から遠くなってしまいましたが、よろしく願います。同期会またの機会楽しみにしております。
- 鈴木晴子 14期: 担任ではありませんでしたが神山先生がお元気で大変嬉しく存じます。会報懐かしく読ませていただきました。

- 境 暁一 14期:30年前から演奏活動をしています。クラシックギターは音が小さいので静かに聴いてくださる方がいれば少人数の前で演奏します。荻窪では城西病院ホスピタリティコンサートに出演しました。残りの人生はマイナーな楽器、クラシックギターの魅力を伝えていきたいと思います。
- 浜田成美 15期:古希会幹事をさせていただき盛会に終わりほっとしています。その後腰部手術を受け6ヶ月が終わりリハビリに専念しています。会報は西田小の歴史がわかり楽しめました。
- 高橋三佐子(小林) 15期:宇田川茂之様同期会など何かとお世話になりありがとうございます。これからもよろしくお願いします。
- 澤村仁司 15期:仙台より47年ぶりに実家に戻りました。
- 北御門励人 17期:活動ご苦労様です。私は愛犬のコリン(ポメラニアン)と一緒に穏やかな老後を過ごしています。
- 堀本恵美子(羽生) 17期:同窓会報に掲載いただきありがとうございました。
- 山口建史 18期:母校(学校法人皇学館)の常務理事に就任しています。いずれ実家荻窪に戻るつもりです。
- 犬塚真理子(首藤) 19期:「おたより」の中で安藤公一君の名を世話人の中に見つけました。幼馴染の名前に懐かしくお会いする機会があれば良いと思っています。
- 大門千春 22期:図書館司書の資格取得をめざして勉強中!!ただし、3年目に突入です。
- 牧野照子 22期:会報懐かしく、楽しく拝読しております。幹事の方々ありがとうございます。
- 松野訓子 22期:このたびは同窓会の会報を送ってくださりありがとうございました。とても懐かしく思い出を通しました。
- 塚原清志 22期:JAZZのバンドをやっています。
- 濱 淑子(篠原) 22期:同窓会たよりをお送りくださりありがとうございます。何もお手伝いできないのですが、これからもよろしくお願いします。姉妹で96歳になる母を介護しています。
- 浅野マリ子(荒井) 22期:荻窪から柏に来てから何度も住所が変わっているのに会報がよくぞ着いたという感じでビックリしています。一年のうち2, 3回は荻窪に行っています。懐かしいです。
- 江尻芳雄 25期:会報ありがとうございます。懐かしい方々の姿に思い出がよみがえりました。次回また集まれることがありましたら是非参加させていただきたいと存じます。
- 奥田洋子 25期:次回同窓会を今から楽しみにしております。幹事の方々に感謝しております。
- 竹本 毅 25期:毎年のクラス会楽しませていただいております。
- 妻鹿貴美子 25期:学年会に出席し会報戴きました。今後の会報希望いたします。
- 福嶋あゆみ(中原) 34期:お世話になります。いつもありがとうございます。
- 長田華子 52期:茨城大学で経済学を教えています。生まれ育った荻窪を離れ水戸市で生活しています。

伝言板

- ◆ ホームカミングデーは2017年(H29)11月23日(勤労感謝の日)に西田小体育館で行います。今からスケジュールに入れておいてください。
当日は楽しいアトラクションを用意します。親しい同窓生とお誘い合わせの上ご出席ください。
- ◆ 本年12月23日(祝)「西田の丘フェス 2016」が開催されます。
西田小学校・西田小同窓会・西田小学校支援本部・地域自治会／商店会などで、学校と地域が連携するイベントです。ぜひ遊びに来てください。お気軽に学校・同窓会へお問い合わせください。プログラムなどお送りします。
- ◆ 転居/転居予定の際は通信連絡票にてご連絡をお願いします。





周辺探訪

田端神社

西田小学校学区の東端の小高い丘に、神社があります。みなさんが良くご存知の田端神社です。ここのお祭りは西田の子供たちにとって今も昔も変わらない。お祭りは子供達にとって最高の喜びだ！おみこしを担ぎ、山車を引き、夜店・屋台のお楽しみ、わずかなお小遣いをもらって心ウキウキとわんぱくどもがおおはしゃぎ。懐かしい姿がよみがえる。この神社は旧田端村の鎮守として、室町時代の応永23年(1416年)起こった上杉禅秀の乱の時代に良影という者(名主など勤めた地元の有力者か)が京都北野神社(天満宮)の分霊を祀ったのが始めと言われている。なお、上杉禅秀の乱とは、前関東管領であった禅秀が鎌倉公方(室町幕府の関東統治機関)の足利持氏に対して、管領(公方補佐役)の任免を巡り反乱を起こし、関東地方一帯が戦乱状態に陥った出来事をいう(翌年収束)。その後、里人らはこの社が田の端にあるので田端天神と称え崇め、また、いつしかこの地を田端村と名付け産土神として、祀るようになった。明治44年(1911年)2月、村内にあった天祖社、稲荷社など四社を田端天神に合祀し、社号を田端神社へ、改称した。祭神は菅原道真、天照皇大神、大国主命など。田端村とは今の杉並区荻窪や成田西などの大半に相当する地域で、農業が盛んであったが、戦前から郊外住宅地としても発展した。



昭和7年(1932年)区制実施に伴い、田端神社を含む地域は西田町(にしたまち)一丁目となったが、昭和44年(1969年)住居表示実施により、この地名は消滅した。その西田は学校の名称として今に残っているほか、西田端橋(善福寺川を渡る)にもその名残がある。周辺は低層住宅と畑それに善福寺川緑地に囲まれた地域で、近くに商店もなく、環境は昔も今もあまり変わっておらず、閑静な土地柄である。今は、無理だが40年くらい前は、神社北側の畑から、風揚げができた。現在、その辺りの一部は“ゆう杉並”という児童青少年センターが建設されている。また、神社から北西方向300メートルにシャレール荻窪なるマンション群、さらに、シティテラス荻窪というマンション群が建設中である(来年平成29年に竣工)。環境が良いせいか、境内にはタヌキの住み処があり、荻窪周辺を走り回っていて、筆者も含め、タヌキに出くわした者は大勢いる。

母校から東方向に歩いて約10分、ぜひ、お詣りのほどを。

記事 中村

寄り道 「荻窪家族レジデンス」と「荻窪家族プロジェクト」

おしゃれな面白い建築様式の建物が太田黒公園のすぐ近くにあります。チョット寄り道してみました。

オーナーは西田小学校卒業です。昭和24年からこの地に永く住んでおられます。今回の住宅建設には単なる賃貸や分譲マンションとしてではなく、「居住者がただ生活する(単純に言えば食事して寝泊まりする)だけの空間ではなく居住者同士や地域の人たちとの交流でより楽しい毎日を送って行けるか、年を取ってからの不安や退屈な一人住まいはどうするのか」との思いから構想された素晴らしいレジデンスです。これからの社会が求める地域コミュニティを主眼とした、あたらしい形の賃貸住宅でありながら、共用スペースをサロンとして開放しています。運営は会員(いつでも参加可)で構成された百人力サロンメンバーが行っています。地域の方々の集会や勉強会、子育てから健康や福祉・介護など幅広い“つどい”があり、そこで新しい出会いと“目からうろこ”の楽しみもあります。もちろん住宅としての機能も最新の設備と共有スペースが充実していて快適な住環境を楽しめます。



独立したビジネスマンの住宅として、また独り高齢者の住まいとして“うってつけ”だと思いました。施設見学もあり、ご興味のある方は「サロンメンバー」になって新しい出会いを楽しんではいかがでしょうか。 記事 中澤

ご報告など

役員会・世話人会より

◆平成27年度決算理事会(第92回理事会)

1. 日 時 平成28年6月5日(日)午後1時～3時
2. 出 席 役員 9名

荻窪地域区民センター集会室

◆平成27年度定時世話人会とサマーキャンプ準備

1. 日 時 平成28年6月26日(日)午前10時～午後3時
2. 出 席 世話人・役員 16名

荻窪地域区民センター集会室

◆西田小サマーキャンプ協賛(体育館・校庭)

1. 日 時 平成28年7月2日(土)・3日(日)
2. 出 席 世話人・役員 10名

◆平成28年度「同窓会からのおたより」発行・発送作業

1. 日 時 平成28年8月7日(日)午前10時～12時
2. 出 席 世話人・役員 12名

◆平成28年度世話人・役員報告会および懇談会

1. 日 時 平成28年9月25日(日)午後4時～7時
2. 出 席 世話人・役員 18名

3. 報 告 (1)半期の活動・行事等報告および平成28年度「同窓会報20号」の記事概要について
(2)世話人の交代:9期は矢代 捷様が退任され、吉村信敏様が就任されました。
(3)「西田の丘 フェスティバル」協力について



旅館西郊での懇談会

維持会費制度について

- 維持会費制度は、基本的に任意です。極力、会員の皆様の^{わずら}煩わしさとご負担を軽くするため9年前に制度化され皆様方のご協力をいただいております。下記の通りです。

- ・維持会費は年間500円とし、5年分(2500円)を一括してお振込みいただきます。
- ・維持会費は卒業後概ね20年経過した時点での開始となります。

同封の「お振込み用紙(2枚)」の記載方法は下記要領でお願いします。振込み手数料はかかりません。

- ・1枚は2500円の維持会費金額が記載され維持会費用です。
- ・もう1枚は金額が記載されていないご寄付用です。
- ・新たに銀行口座を設けましたので、振込み手数料はご負担願いますが、下記口座にてもご入金いただけますのであわせてご利用お願い申し上げます。この場合、振込人フルネームのうしろに維持会費は(01)を寄付は(02)両方は(03)を付記記入をお願いします。

三菱東京UFJ銀行 荻窪支店 普通 0632539 名義 西田小学校同窓会

- ※ なお、維持会費の有効期間(5年:平成24年以降納付の方)内の会員様には維持会費用振込用紙は入れておりません。有効期間が過ぎている維持会員の方には振込用紙を入れてありますので、ぜひご継続をお願いいたします。維持会費の納入状況がわからない場合はお問い合わせください。

新規ご登録、維持会費のお振込みをお待ちいたしております。



個人情報保護について

同窓会会則により個人情報保護について規定しております。

お名前、住所などの登録情報は名簿管理責任者を決め管理しております。名簿及びその他の個人情報や記事情報などは同窓会の活動(会報送付、同窓会開催、連絡)のみに使用し他への流用致しません。
ぜひ名簿登録(会報発送用)にご協力ください。

編集後記



- 皆様方からの投稿有難うございました。次回に向けてのご寄稿をお願い申し上げます。
- 昨今、学校運営の形態が変化してきています。児童生徒の教育は生きた教育として福沢諭吉の「学問のすすめ」にある実学と見てもいいのかもしれません。基礎教育のほかに、難しい本を読んでいろいろな知識を吸収するのも大事です。しかし、将来生活をし、社会に役に立つ人間として成長させることの重要性が増してきています。先生の方に全部をお願いするのは難しくなっています。経験豊かな人材、地域の多様な人たちの支援が必要になってきています。地域とともにある学校、学校が街づくりの要となって、教育をしながら明るく楽しい街づくりをしていこう、という地域運営学校へと舵が執られています。私たち同窓会も先輩として少しでも母校のために協力できるような組織になりたいと思います。同窓生各位のご支援ご協力が何よりです。同窓会の活動に一人でも多くの方のご参加をお願いいたします。

会長 中澤 一郎

- 広報委員は下記の方々です。(敬称略)

・編集発行責任者 田村晋一郎 2期

・広報委員長 中澤 一郎 13期

・広報委員 吉田浩二 12期、小林真人 14期、横川和則 17期、島田真理子 18期、
安藤公一 19期、栗田恒雅 19期、宇田川政幸 19期、萩原伸一 20期

連絡先

■会報へのお問い合わせ 田村晋一郎 〒167-0051 杉並区荻窪 3-39-11

メール : ys-tamura@jcom.home.ne.jp

■会長へのお問い合わせ 中澤 一郎 〒167-0051 杉並区荻窪 4-24-14

TEL : 03-3398-5334(FAX同) メール : nk168ichi@jcom.home.ne.jp